

夜道はキケンがいっぱい

【問】 筑西警察署 ☎24-0110

交通事故にあわないためにできること

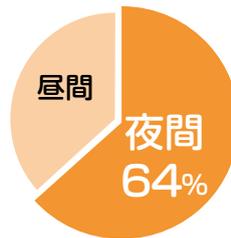
歩行時 反射材を身に着けよう



市内で高齢者の交通事故が頻発しています。歩行時の反射材の着用や、運転時の上向きライトの使用などで交通事故防止に努めましょう。

数字で分かる交通死亡事故の現状

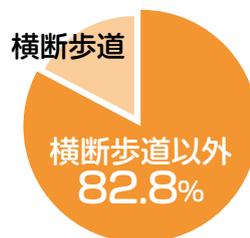
① 事故が多い時間は？



夜間歩行中に交通事故で亡くなられた人の**95%が高齢者**です。反射材を付けることで事故を防ぎやすくなります。夜間の事故の全てで**車のライトが下向き**でした。

※県内令和3年中

② どこで事故が多いの？



近くに横断歩道があるときは、手をあげて横断歩道をわたるようにしましょう。また、交通事故の約半数が、**自宅から500m以内**で発生しています。通り慣れた道でも注意が必要です。

※県内平成29年～令和3年累計



運転時 上向きライトで事故防止

時速60kmで走行した場合の停止距離は約40mです。この場合、歩行者がライトに照らされてからでは事故回避は困難です。

こまめに、ライトの上下を切り替えましょう。また、ライトは早め（16時ごろ）に点灯するようにしましょう。

下向きライト



時速60km 走行

黒っぽい服装



約26m

明るい服装



約38m

停止距離
約40m

反射材あり



57m以上

上向きライトは
約100mまで届く

